

2019年6月27日

燃料電池式可搬形発電機と電源車への取り組みについて

デンヨー株式会社

本社・東京都中央区日本橋堀留町 2-8-5

代表取締役社長・白鳥昌一

デンヨーは、環境省の「CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」の採択を得て、「燃料電池式可搬形発電装置と電源車の技術開発・実証」事業に取り組むことになりましたのでお知らせします。

燃料電池自動車（FCV）の一般販売が始まり、燃料である水素の供給を担う水素ステーションの整備も急ピッチで進められています。そのような中、可搬形発電機のトップメーカーとして、可搬形発電機および電源車の燃料電池化が、将来的な地球温暖化対策につながると考え開発、実証に取り組むこととしました。

本事業では、太陽光発電・風力発電等の再生可能エネルギーの電力から製造する水素を利用可能な可搬形及び電源車用の燃料電池システムと、様々な負荷機器に対応可能なパワコンを開発、実証することで、地球温暖化対策のひとつとしてCO₂排出量の削減に貢献していきたいと考えています。

記

環境省「CO₂排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」に採択された事業の概要

- ・ 課題名 : 燃料電池式可搬形発電装置と電源車の技術開発・実証
- ・ 技術開発代表者 : デンヨー株式会社
- ・ 共同事業者 : トヨタ自動車株式会社

以上

<本リリースに関するお問い合わせ先>

デンヨー株式会社 経営企画部

Tel : 03-6861-1111 FAX : 03-6861-1185